

株式会社 オートバックスセブン

2011年3月期 決算説明会



代表取締役 社長執行役員

湧田 節夫

2011年5月12日

本日の内容

I 2011年3月期 連結業績

II 2012年3月期 連結業績予想

III 中期経営計画の進捗と計画

I 2011年3月期 連結業績

2011年3月期 連結損益計算書

(億円)

	2011年3月期				2010年3月期 実績
	直近予想	実績	前年比	直近予想比	
連結売上高	2,295	2,364	1.5%	3.0%	2,329
売上総利益	732	757	2.4%	3.5%	740
販管費	626	638	▲0.1%	1.8%	638
営業利益	106	120	17.9%	13.1%	102
営業外収支	10	11	▲32.5%	7.1%	16
経常利益	116	131	11.1%	12.6%	118
特別損益	▲12	▲16	—	—	▲12
当期純利益	56	62	5.4%	10.3%	59
ROE	3.8%	4.1%	+0.3pt	+0.3pt	3.8%

四捨五入表示
対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

2011年3月期の総括

増収増益

1. 計画の着実な遂行が結果に繋がった

- ・ 上期は、タイヤやETC車載器の売上未達、粗利ミックスの変化による粗利率未達
- ・ 下期は、降雪によるタイヤ・ホイール、タイヤチェーン需要を確実に取り込んだ
- ・ 海外事業の着実な改善

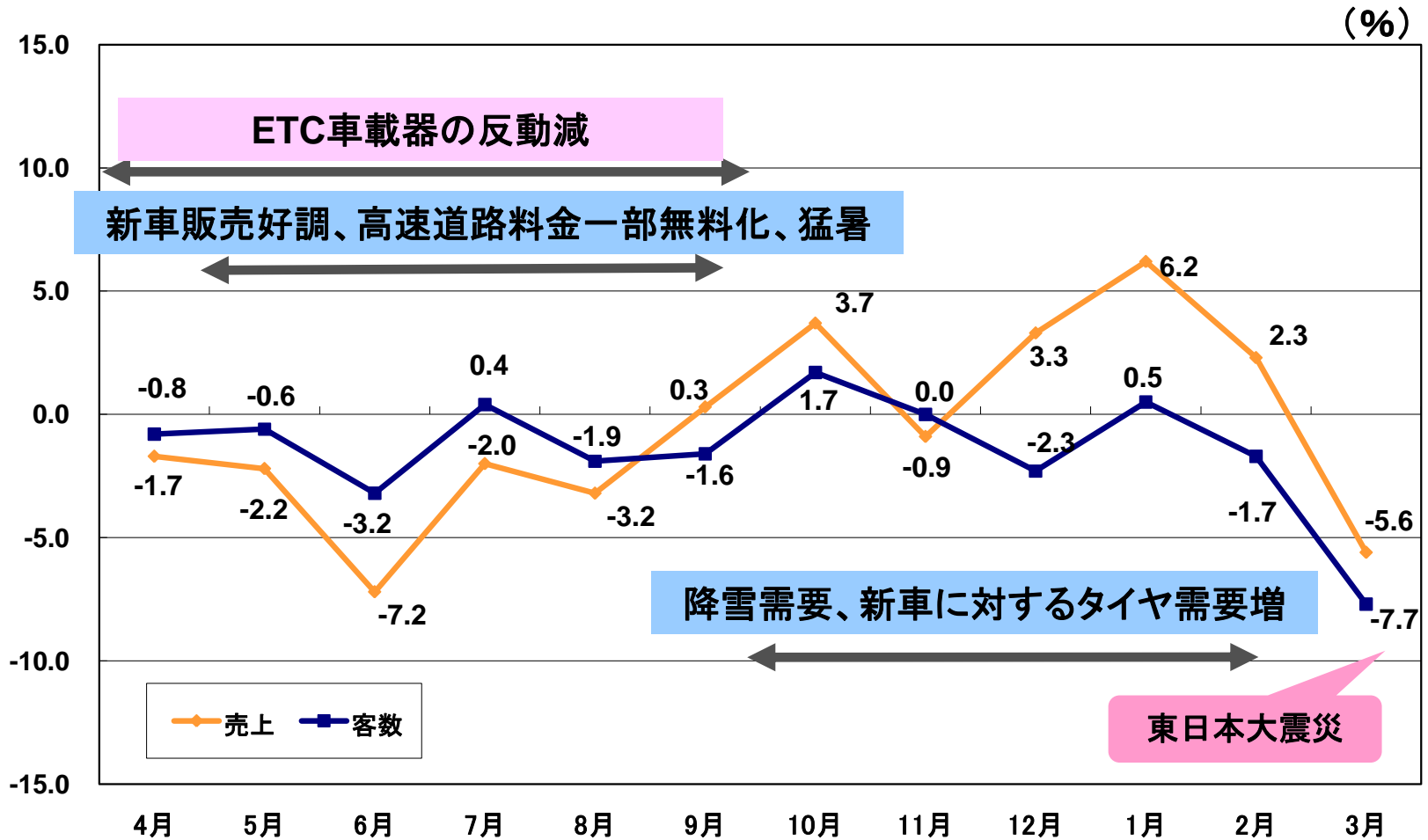
2. 中期経営計画は、ほぼ計画通りに進捗

- ・ 売場改革と接客改革は、計画以上に進捗
- ・ 新店出店は、若干遅れるも4店舗は出店
- ・ 仕入改革は、商品ごとの仕入先集中を実施

3. 震災による小売売上の影響は、14億円程度のマイナス

2011年3月期 店舗売上 前年比のトレンド

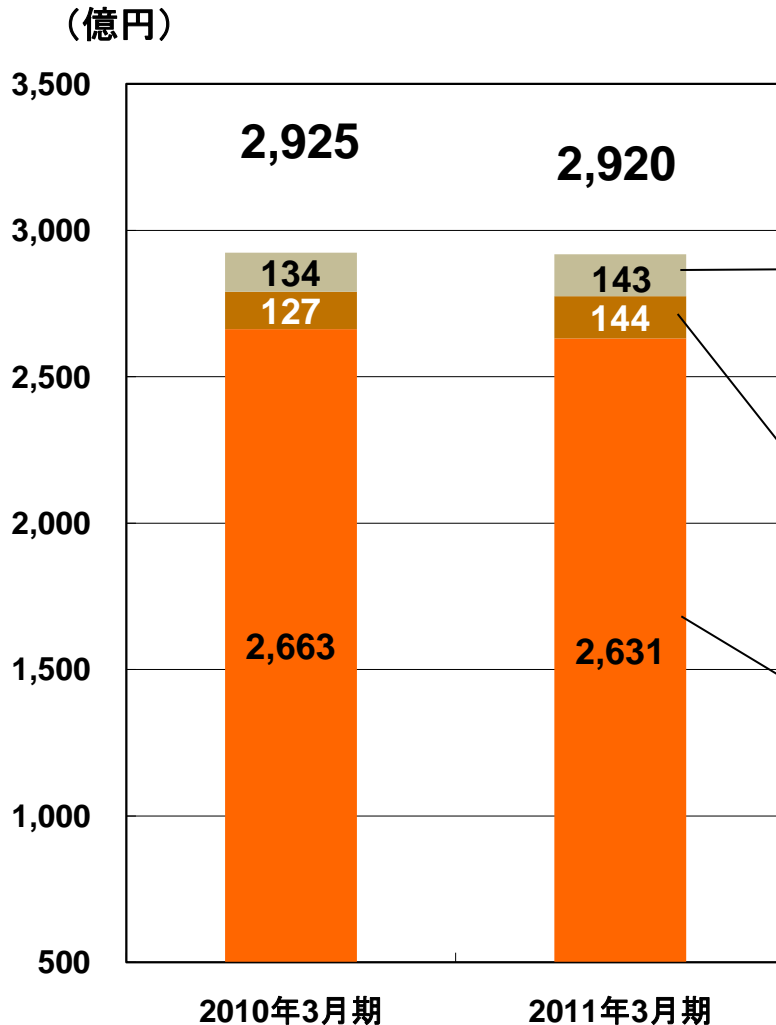
2011年3月期 既存店売上・客数 前年比の推移



対象: オートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズ

国内チェーン売上高

2,920億円 前年比▲0.2%



車検・整備

143億円(前年比+6.6%)

49万7,211台(前年比+11.2%)

指定認証店 325店(前年度末から+26店)

車販売・買取※

144億円(前年比+13.7%)

1万6,274台(前年比+11.0%)

カー用品販売

2,631億円(前年比▲1.2%)

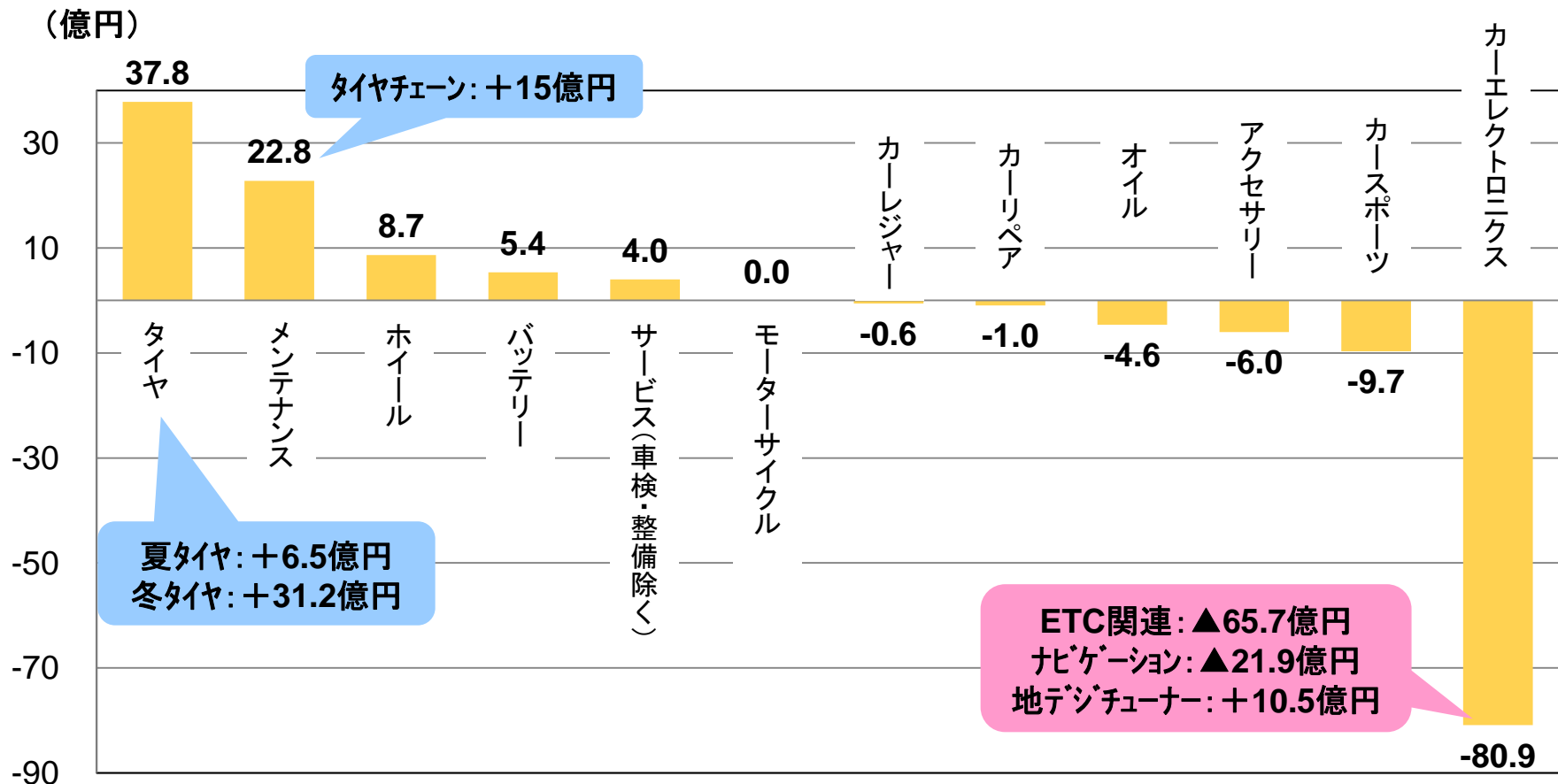
国内チェーン売上高: 既存業態(オートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズ)+セコハン市場+カーズ

※車販売にはオークション向け売上を除く ※億円未満は切り捨て表示

国内カー用品 商品別 売上増減額



商品別 小売売上高※増減額 (前年比 全店ベース)



※ 既存業態(オートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズ)における売上高

2011年3月期 連結損益計算書 下期の状況

(億円)

	上期 実績	前年 増減額	下期 実績	前年 増減額	直近 下期予想	予想 比較額
連結売上高	1,150	+5	1,213	+29	1,145	+69
売上総利益 (売上比)	358 (31.1%)	▲6	400 (32.9%)	+23	374 (32.7%)	+25
販管費	316	▲0	321	▲1	310	+12
営業利益	41	▲6	79	+24	65	+14
営業外収支	3	▲6	8	+1	7	+1
経常利益	44	▲12	87	+25	72	+15
特別損益	▲12	▲6	▲4	+2	0	▲4
当期純利益	17	▲10	45	+13	39	+6

四捨五入表示
対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

2011年3月期 連結損益計算書 前年比増減要因

(億円)

	2011年3月期			2010年 3月期 実績 (売上比)
	実績 (売上比)	前年比	主な要因	
連結売上高	2,364	+1.5%	単体 +38億円(本資料33ページ参照) 国内店舗子会社 +21億円(子会社の増減+25億円) 海外子会社 +3億円	2,329
売上総利益	757 32.0%	+2.4%	卸売+14億円、小売+6億円 ・タイヤ・ホイールの売上増に伴う粗利率の上昇 ・ETC車載器売上の減少に伴う粗利額の減少 ・サービス売上および粗利額の増加	740 31.8%
販管費	638 27.0%	▲0.1%	人件費:主に国内店舗子会社の増加による 販売費:改装、昨年まで原価計上していた販促値引きなどの増加 設備費:海外の地代家賃や単体の減価償却費の減少 震災関連:販促キャンセル料、義援金、物流追加費用など2.9億円	638 27.4%
営業外収支	11 0.5%	▲32.5%	営業外収益:機能子会社の利益減少 営業外費用:為替差損の増加、 投資有価証券評価損と情報機器賃貸費用の減少	16 0.7%
特別利益	11 0.5%	▲72.3%	貸倒引当金戻入額:5億円、固定資産売却益(自動車学校の土地など)4億円、事業再構築引当金戻入額1億円	40 1.7%
特別損失	27 1.1%	▲48.3%	資産除去債務会計基準の適用:12億円 特別退職金(ブレーニング):5億円、東日本大震災:3.9億円 固定資産減損、店舗整理損:6億円	51 2.2%

セグメント情報



		(億円)				
		2011年3月期	2010年3月期	前年同期比 (%)	直近予想	直近予想比 (%)
当社(単体)	売上高	1,947	1,909	2.0	1,889	3.1
	営業利益	117	105	11.5	105	11.9
国内店舗子会社	売上高	812	791	2.7	802	1.3
	営業利益	▲1	▲1	—	▲2	—
海外子会社	売上高	88	85	4.0	84	4.9
	営業利益	▲2	▲7	—	▲3	—
機能子会社	売上高	62	126	▲51.0	63	▲1.9
	営業利益	5	7	▲34.4	4	21.8
事業子会社	売上高	130	130	0.4	132	▲1.3
	営業利益	2	3	▲18.0	3	▲22.3
単純合算	売上高	3,039	3,041	▲0.0	2,970	2.3
	営業利益	122	108	13.1	107	14.0

〔 比率は百万円単位で計算
億円未満は四捨五入表示 〕

海外子会社の状況

海外子会社のある国別の状況

	フランス		中国		シンガポール		タイ	
期末店舗数 (FC店含む)	11		4		2		4	
既存店 売上前年比 (FC店含む)	7.6%		7.6%		15.0%		▲2.8	
期間	11/3 通期	10/3通期	11/3通期	10/3通期	11/3通期	10/3通期	11/3通期	10/3通期
売上高 (億円)	68.1	65.5	3.9	4.4	10.8	9.5	5.3	5.3
販管費 (億円)	34.2	38.5	2.3	2.9	3.3	3.1	1.6	1.4
営業利益 (億円)	▲2.4	▲6.5	▲0.6	▲1.4	1.3	0.9	▲0.1	0.1
状況	現地FC1社を子会社化。消耗品、サービスビジネス拡充に加え、降雪やリストラ効果により利益が改善		子会社直営店にて、洗車を切り口にした店舗実験を継続中		好景気とメンテナンス需要の増加を背景に売上が好調		政情不安により消費が低迷、メンテナンス商品を中心に販促強化、12月に小型店舗を出店	

出退店の実績



国内出退店実績

	10/3 末	2011年3月期						11/3 末
		上期			下期			
		新店	S/B R/L	退店	新店	S/B R/L	退店	
オートバックス(AB)	395		+8/▲4		+4	+7/▲6		404
スーパーオートバックス(SA)	77		▲1					76
オートハローズ(AH)	8		▲2			▲1		5
セコハン市場(SH)	25			▲1			▲3	21
オートバックス・エクスプレス	6				+1			7
国内計	511		+1	▲1	+5	±0	▲3	513

海外出退店実績

S/B=スクラップ & ビルト、R/L=リロケーション

	2010/3末	2011年3月期		2011/3末
		上期	下期	
フランス	11			11
中国	6	▲2		4
台湾	4		+1/▲1	4
タイ	3		+1	4
シンガポール	2			2
海外計	26	▲2	+1	25

震災の影響 被災状況と対応



被災状況等

	震災直後	5月12日現在
店舗	35店舗が営業停止(3月12日)	2店舗が営業停止 (AB石巻店、AB多賀城店)
物流	東日本ロジスティクスセンターが稼働停止、 西日本から集配作業を開始	東日本ロジスティクスセンターが復旧 (5月2日)
支援活動他	<ul style="list-style-type: none"> ・義援金(1億円) ・被災地の災害対策本部への支援物資の提供 ・グループ店舗への支援物資、復旧応援の派遣 ・節電対応の実施 	

国内オートバックスグループ店舗 3月の売上高

	予算との差額	前年同月比(全店)
全国	▲14億円	▲4.2%
北日本事業部	▲6億円	▲21.2%
関東事業部	▲10億円	▲9.3%
その他の事業部	+1億円	+2.2%

震災の影響 利益に対する影響額



収益への影響

	影響額	
連結売上高の減少	約6億円	} 税引前利益に対して 約9億円の影響
売上総利益の減少	約2億円	
販管費の増加	2.9億円	
特別損失の増加	3.9億円	

販管費と特別損失の内訳

(億円)

	商品	設備	その他	合計
東北	1.5	1.3	0.0	2.8
関東	0.0	0.3	0.0	0.3
ロジスティクスセンター	0.0	0.3	0.4	0.8
その他	0.0	0.0	2.8	2.8
合計	1.6	1.9	3.3	6.7

四捨五入表示

Ⅱ 2012年3月期 連結業績予想

2012年3月期業績予想

(億円)

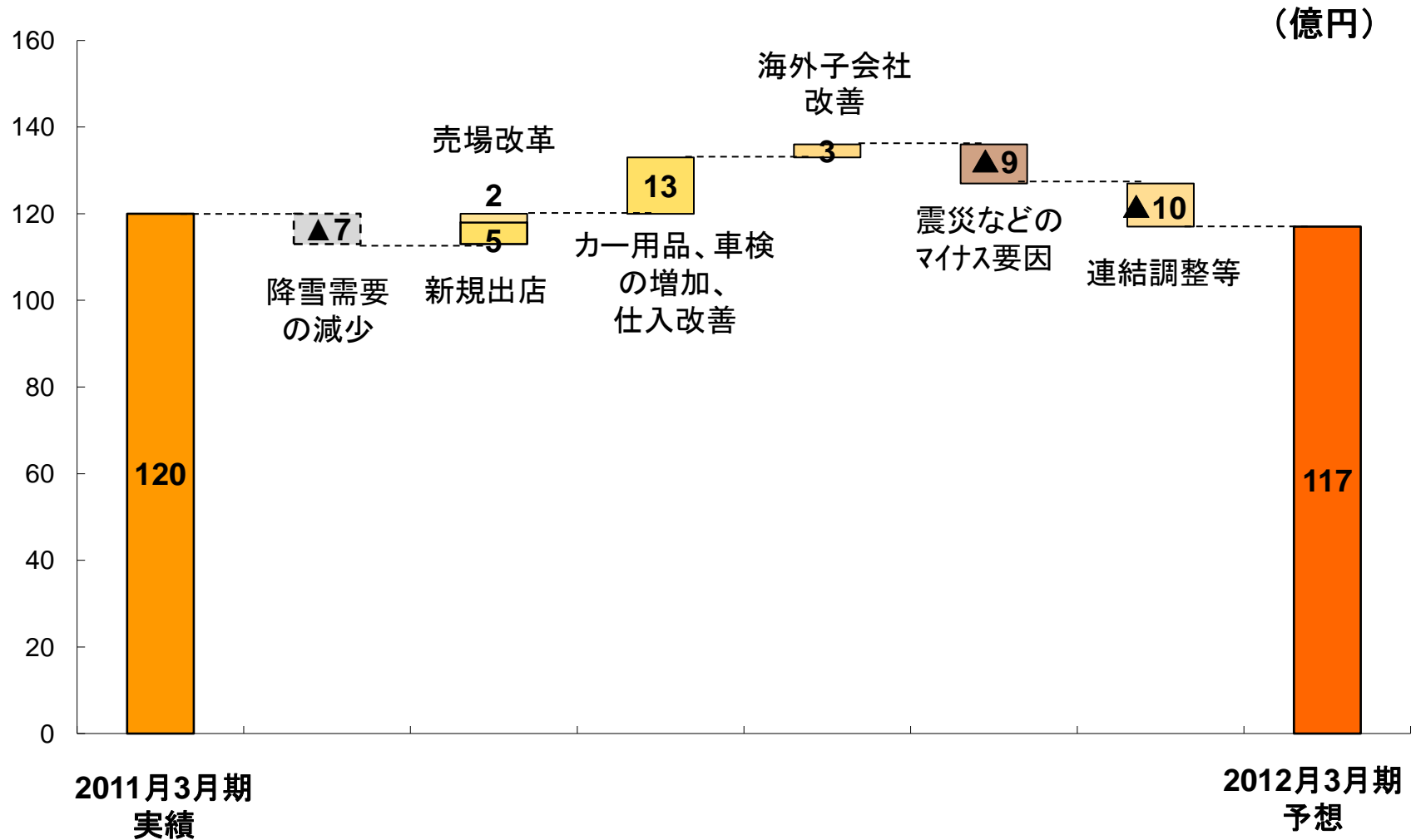
	2011年3月期 実績 (売上比)	2012年3月期(予想)			
		上期 (売上比)	下期 (売上比)	通期 (売上比)	前年比増減 (比率)
連結売上高	2,363	1,141	1,191	2,332	▲31 ▲1.3%
売上総利益	757 32.0%	361 31.6%	388 32.6%	749 32.1%	▲8 ▲1.1%
販管費	637 27.0%	314 27.5%	318 26.7%	632 27.1%	▲5 ▲0.9%
営業利益	119 5.1%	47 4.1%	70 5.9%	117 5.0%	▲2 ▲2.4%
経常利益	130 5.5%	54 4.7%	78 6.5%	132 5.7%	+1 +1.1%
当期利益	61 2.6%	30 2.6%	43 3.6%	73 3.1%	+11 +18.1%
ROE	4.1%			5.0%	—

億円未満は切捨て表示
対売上比・前年比は百万円単位で計算

2012年3月期の営業利益に影響を与える要因

- ① 降雪需要などの減少
 - ② 新店の増加、売場改革の効果による売上増
 - ③ タイヤ、地デジチューナー、車検の売上増、粗利率の改善
 - ④ 海外子会社の利益改善
 - ⑤ 売場改革などによる経費の増加
- +
- ⑥ 自動車販売減少に伴う売上減、嗜好性の高い商品の売上減
カーエレクトロニクスの商品調達難による売上減(約50億円)

2012年3月期業績予想 営業利益の増減分析



2012年3月期 国内店舗 売上高の前提

売上高の計画(前年比)

	上期	下期	通期
カー用品(サービス除く)	▲3.7%	+1.2%	▲1.5%
サービス	+5.8%	+5.9%	+5.9%
車販売	+5.9%	+7.7%	+6.8%
既存店合計	▲2.4%	+0.2%	▲1.0%
全店合計	▲1.4%	+1.8%	+0.3%

※対象業態:全業態

車検の目標台数:55万台

車販売の目標台数:18,000台

国内における取組み

- ・カー用品

さらなるタイヤ販売への集中、
メーカーとの戦略的取組みによる粗利率向上

地デジ関連商品の調達と販売体制の構築

- ・車検

車検実施台数の少ない店舗における底上げ

- ・車販売

買い取り強化、東北地方における販売強化

- ・CRMの推進による販促の見直し、効率化

- ・次世代自動車に対する中期的なサービス体制の構築

セグメント別予想

(億円)

		2011年3月期 実績	2012年3月期(予想)			
			上期	下期	通期	前年差
当社(単体)	売上高	1,947.1	950.0	992.0	1,942.0	▲5.1
	営業利益	117.4	55.0	65.0	120.0	+2.6
国内店舗子会社	売上高	812.0	386.0	426.0	812.0	▲0.0
	営業利益	▲0.8	▲6.0	9.0	3.0	+3.8
海外子会社	売上高	88.1	48.7	44.3	93.0	+4.9
	営業利益	▲1.8	1.3	▲0.3	1.0	+2.8
機能子会社	売上高	61.8	17.0	16.0	33.0	▲28.8
	営業利益	4.8	2.0	1.2	3.2	▲1.6
事業子会社	売上高	130.3	66.6	64.4	131.0	+0.6
	営業利益	2.3	1.1	1.4	2.5	+0.1

千万円未満を切捨て表示
前年比は百万円単位で計算

国内出退店計画

	11/3 末	2012年3月期						12/3 末
		上期			下期			
		新店	S/B R/L	退店	新店	S/B R/L	退店	
オートバックス(AB)	404	+8	+5/▲3		+23	+5/▲3		439
スーパーオートバックス(SA)	76							76
オートハローズ(AH)	5		▲2			▲2		1
セコハン市場(SH)	21							21
オートバックス・エクスプレス	7							7
国内計	513	+8	0		+23	0		544

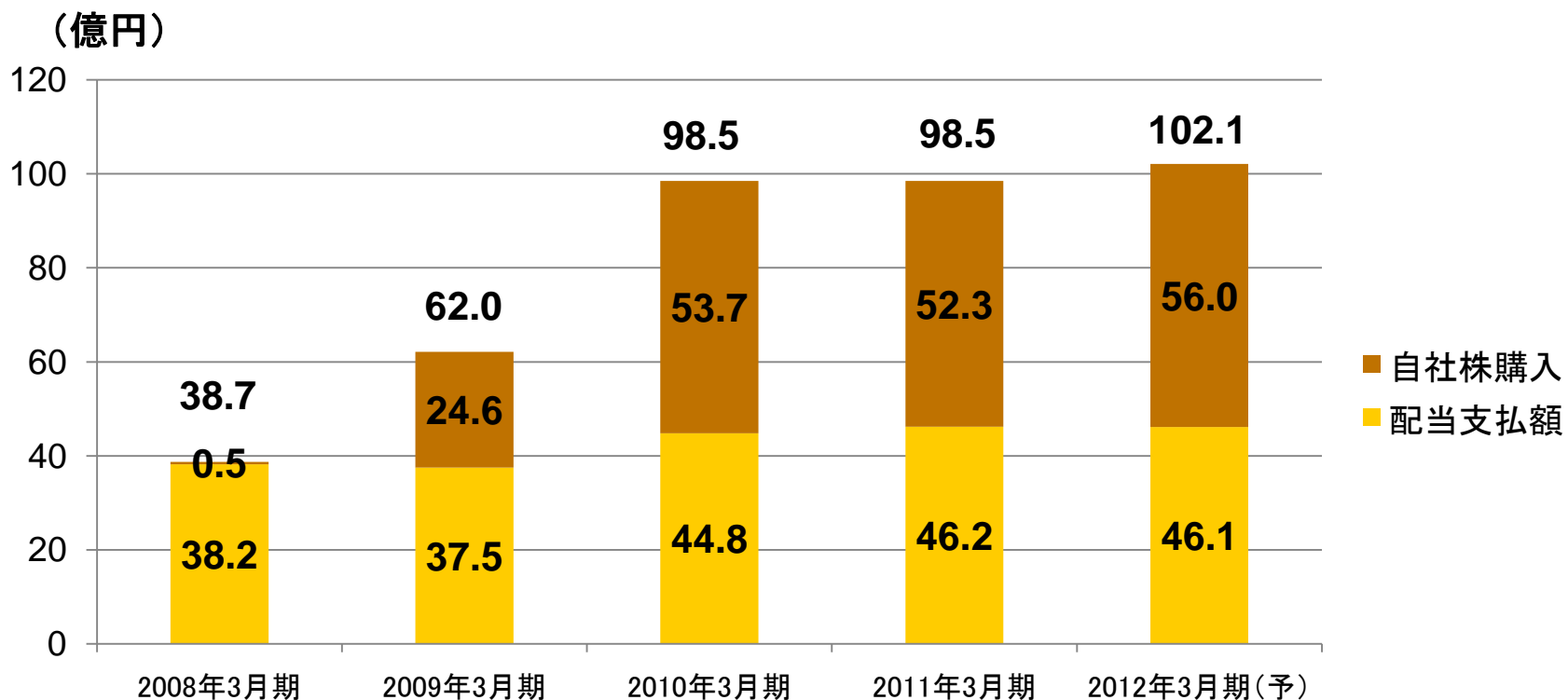
S/B=スクラップ & ビルト、R/L=リロケーション

海外出退店計画

	2011/3末	2012年3月期		2012/3末
		上期	下期	
フランス	11			11
中国	4	+1		5
台湾	4	+1		5
タイ	4			4
シンガポール	2			2
海外計	25	+2		27

※計画は確定しているもののみを掲載

株主還元 : 方針に則り今期も継続的に実施



一株当たり 配当金	100円	100円	125円	135円	140円
DOE	2.3%	2.4%	3.0%	3.2%	3.2%
総還元性向	636.3%	-	168.0%	159.4%	139.8%
配当性向	260.6%	-	77.2%	75.9%	65.7%

Ⅲ 中期経営計画の進捗と計画

中期経営計画の施策 昨年度の結果



項目	評価	進捗状況
1. 店舗収益向上策		
①売場改革	○	141店舗において実施
②仕入改革	△	仕入先の集中・選定及び戦略的タイアップの実施
③人材とオペレーション改革	○	接客研修3,755名、セールススキルアップ研修2,337名修了
2. 市場シェア向上策		
①新規出店	△	4店舗出店(うち、1店舗はタイヤ特化型)
②サービス業態、 マルチチャネル開発	×	下期にピット予約システムをテスト稼働するも、 全体的には遅れている
3. 海外事業	○	既存進出国での黒字化は目途が立つ 中国については、ビジネスを再構築する

4～2月の累計実績

	未改装店 (319店舗) 前年比	導入店(73店舗) 平均前年比 ※1月までに実施店舗	差異
総売上高	100.7%	102.2%	+1.5pt
客数	99.9%	98.9%	▲1.0pt
中央ゴンドラ売上数量	100.2%	98.3%	▲1.9pt
総合メンテナンス売上高(物販)	102.2%	100.6%	▲1.6pt
総合メンテナンス売上高(ピット)	108.9%	104.4%	▲4.5pt
タイヤ売上数量	109.9%	113.9%	+4.0pt

売場改革の効果 (2)

顧客動線・業務量の改善効果

主要調査項目		定義(算出式)	調査結果平均値		効果(改善率)
			改装前	改装後	
売場の回遊性	【1】買上比率	来店顧客の購買割合 (レジ通過人数÷来店客数)	54.9	58.2	+3.3ptの買上比向上
	【2】主通路通過率	来店顧客が主通路を通過した割合 (主通路通過客数÷来店客数)	35.3	50.2	+14.9ptの通過率向上
	【3】売場立寄り率	来店顧客が各売場へ立ち寄った割合 (売場立寄り客数÷来店客数)	27.1	31.8	+4.7ptの立寄り向上
効率面	【4】接客応対率	来店顧客に対する接客した人数の割合 (接客人数÷来店客数)	30.0	46.5	+16.5ptの応対向上
	【5】レジ接客比率	全接客人数のうちレジで接客した人数の割合 (レジ接客人数÷全接客数)	26.8	18.4	▲8.4ptの負担軽減

※調査実施6店舗の平均値 ※調査対象は休日分を引用

2011年3月以降に新規出店した店舗



オートバックス名取(3/4)



オートバックス小浜店(3/26)



オートバックス松山保免店(4/21)



オートバックス函館中道店(3/31)



オートバックス函館広野店(3/31)

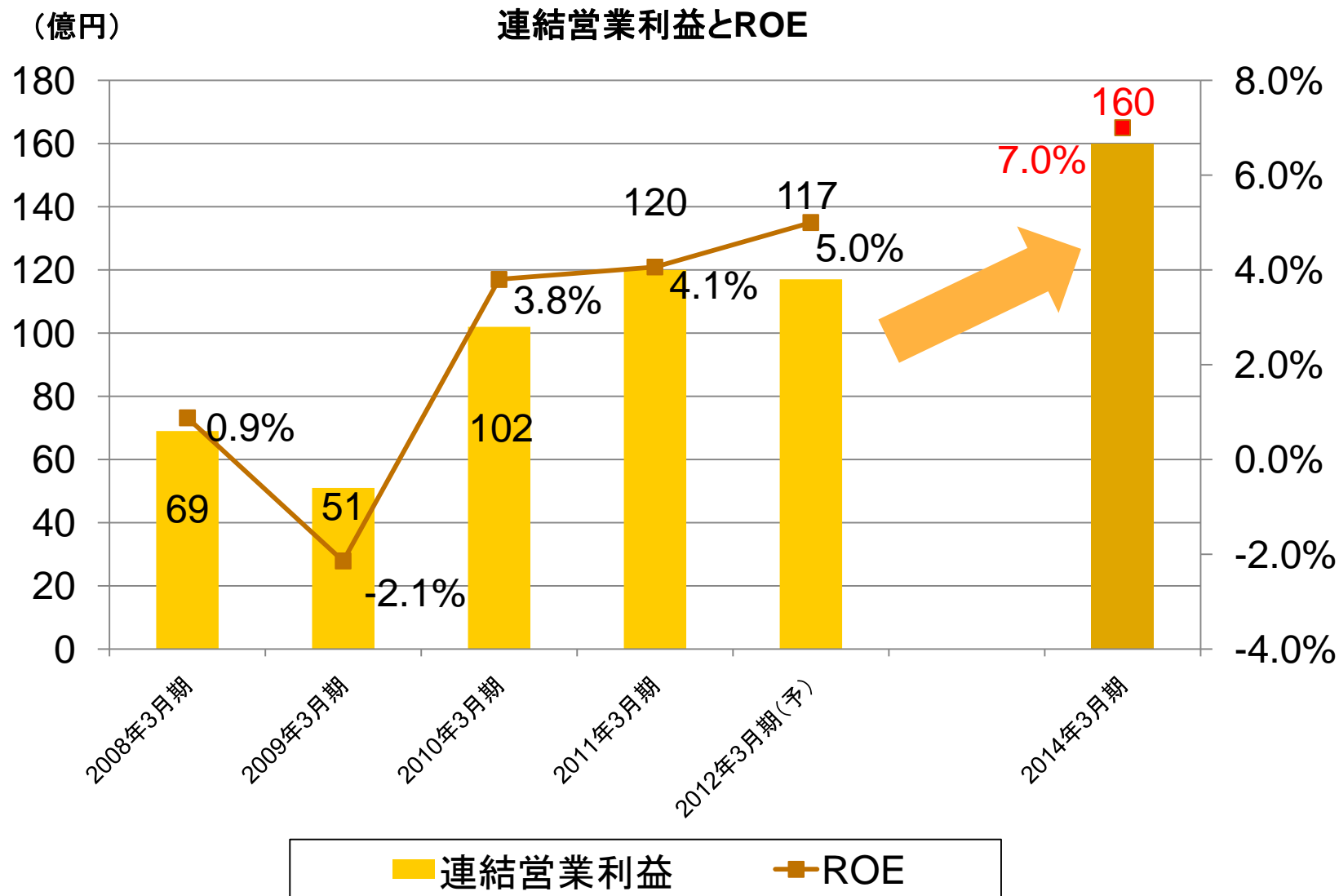


オートバックス十日町店(4/22)

※カッコ内は出店日

項目	計画
1. 店舗収益向上策	
①売場改革	残りの約220店舗において実施、改装済み店舗における収益の拡大
②仕入改革	仕入先の集中・選定及び戦略的タイアップの実施を推進
③人材とオペレーション改革	全従業員の教育を修了予定、1店舗まるごとの研修なども実施、改装後店舗におけるオペレーション効率の向上
2. 市場シェア向上策	
①新規出店	小商圈型を中心に31店舗出店を目指す 専門業態の実験的出店を継続
②サービス業態、 マルチチャネル開発	サービス業態店舗の物件開発、Eコマース拡大のため商品数拡大、チェーン内インフラの整備
3. 海外事業	海外戦略を今後の成長戦略の柱の一つとする 中国およびASEAN地域において数店舗出店予定 フランスでの営業利益黒字化の実現へ

中期経営計画の目標を目指して



マイナス要因

降雪需要の反動、震災の影響による売上減少

新店の出店 31店舗

スクラップアンドビルド、リロケーション 10店舗

売場改革(改装) 220店舗

海外子会社の利益改善

全店売上、経常利益での前年比プラスを目指す

追加資料編

カテゴリー別実績のポイント

当社(単体)

売上高 1,947億円 (対前年: +37.8億)	卸売部門 +50.2億円(+2.8%)	増加: タイヤ・ホイール、車外用品、自動車 減少: カーエレクトロニクス、カースポーツなど
	小売部門 ▲10.2億円(▲10.0%)	減少: カーエレクトロニクス、中古カー用品、二輪用品
売上総利益 406億円 (対前年: +14.3億)	卸売部門 +21.0億円(+6.0%)	ETC車載器の影響を、タイヤ・ホイールとタイヤチェーンなどで補う
	小売部門 ▲3.1億円(▲9.2%)	直営の中古用品店、二輪用品店の閉店が大きく影響
販管費 289億円 (対前年: +2.2億)	人件費: (株)ブレーニングの合併に伴う人員増	
	販売費: 改装支援コストの増加 売上原価で計上していた販促関連コストを販売費の中で管理	
	設備費: ソフトウェアや工具器具備品などの減価償却費の減少	

国内店舗子会社

売上高 812億円 (対前年: +21.4億)	連結対象子会社1社増加(+19億円) ETC車載器売上の減少をタイヤ、ホイール、タイヤチェーン、自動車などの売上でカバー
営業利益 ▲0.9億円 (対前年: ▲0.1億)	

連結調整の減少について

連結調整の状況

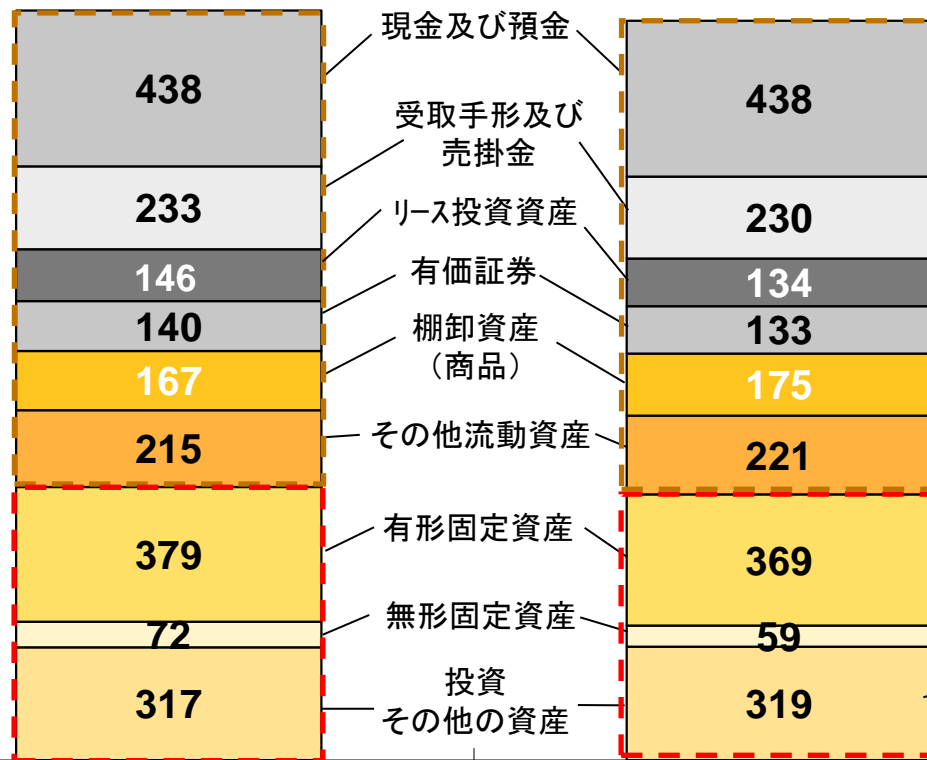
(百万円)

	2011年3月期	2010年3月期
単純合算 営業利益	12,196	10,781
棚卸資産の調整額 (子会社在庫の未実現利益など)	▲66	▲83
のれんの償却額	▲152	▲320
ポイント引当金洗替額	▲24	+91
セグメント間取引消去	+188	▲327
固定資産の調整額	▲60	+192
その他	▲91	▲163
連結調整(消去)	▲208	▲610
連結営業利益	11,988	10,171

連結貸借対照表 資産の部

資産合計
2,107億円

資産合計
2,078億円



主な変動項目

リース投資資産: ▲12億円

土地: ▲10億円
西武自動車学校など

ソフトウェア: ▲11億円

投資有価証券: +22億円

2010年3月期末

2011年3月期末

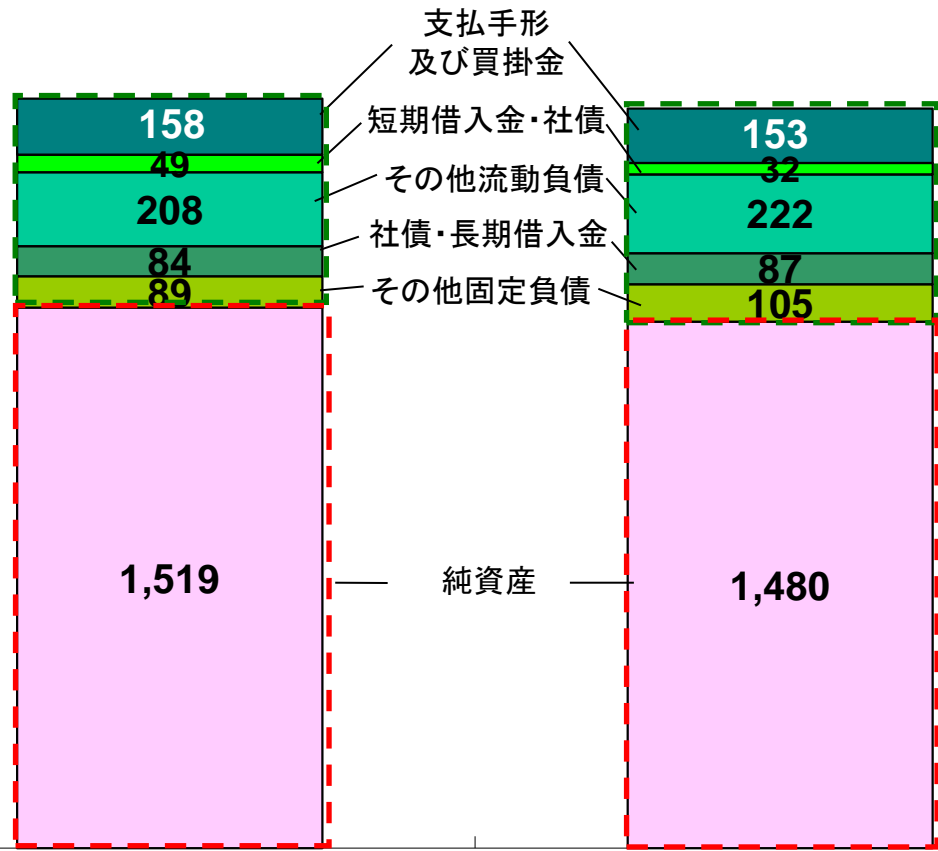
千万円単位を四捨五入表示

連結貸借対照表 負債・純資産の部

負債・純資産合計
2,107億円

負債・純資産合計
2,078億円

主な変動項目

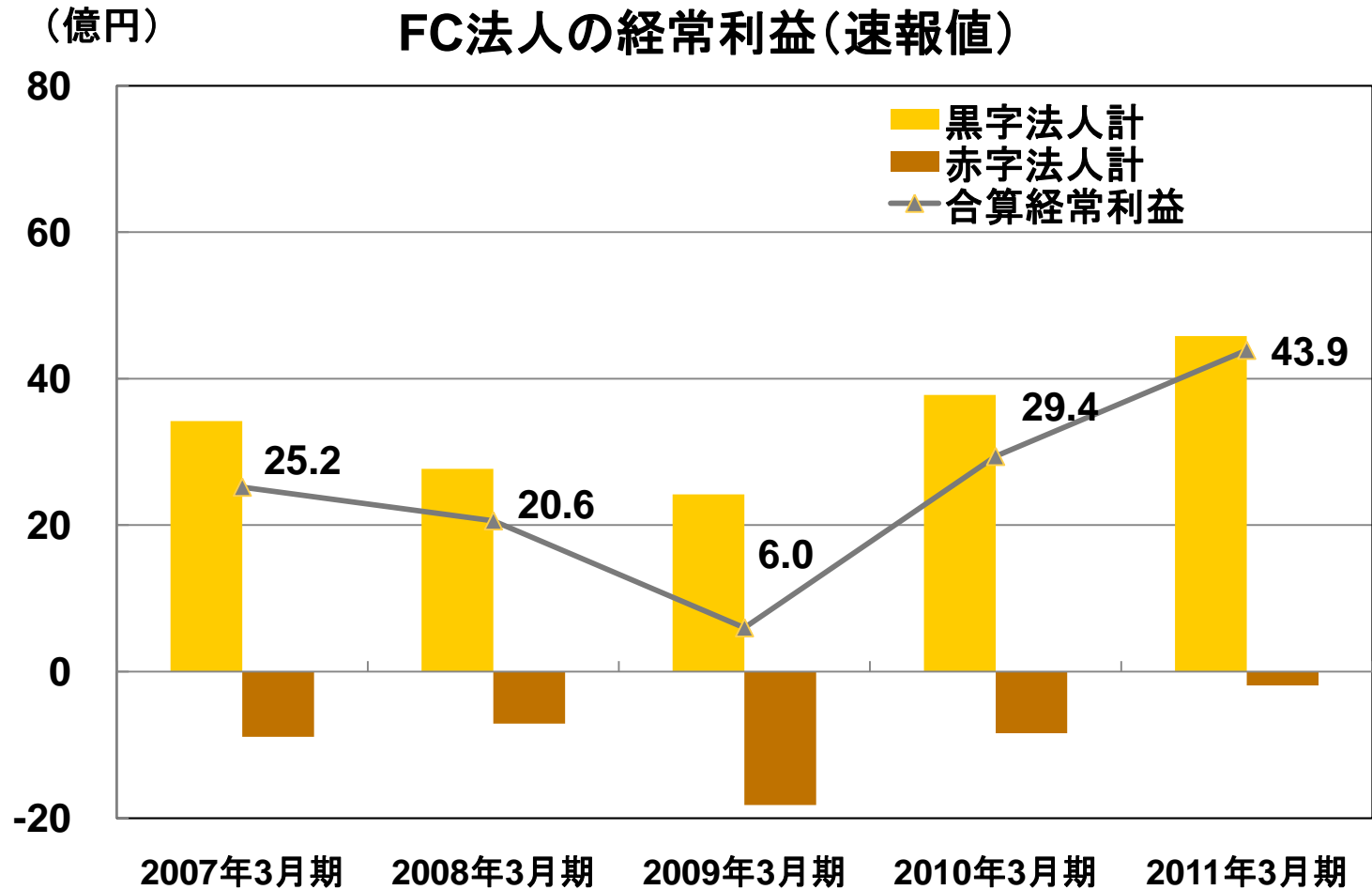


- 短期借入金: ▲17億円
- 未払法人税: +17億円
- 資産除去債務: +17億円
- 利益剰余金: +16億円
- 自己株式: ▲52億円

2010年3月期末

2011年3月期末

千万円単位を四捨五入表示



注) 各FC法人決算は確定前の数値で速報値
 2011年3月期は上場3法人と1法人を除く各期末稼働法人
 2010年3月期までは上場3法人を除く数値

クルマのことなら  オートバックス

 **AUTOBACS SEVEN**

見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。